

報道関係各位
プレスリリース

2017年10月2日

「スポーツ実況の世界」～放送席の取捨選択と気配り～

日本最初のスポーツ実況が、甲子園球場で始められてからちょうど90年が経ちます。ラジオ放送から始まりテレビ、そしてタブレットへとスポーツ放送を取り巻く環境は変化してきました。画面で見る映像は鮮明になり、競技場に置かれるテレビカメラの台数は30台を超え、レンズを通して捉えられたありとあらゆる動きが、息つく間もなく繰り返し再現されています。ラジオ放送の時代におおらかだった判定も、今ではボールとラインの関係がセンチ・ミリ単位で示され、今やスポーツ中継では映像が饒舌な時代となり様々な情報を提供しています。音声で勝負をするアナウンサーは、実況放送の主役の座からは下りましたが、目まぐるしく変化をする画面を前に、情報を大量に集め、必要なものだけを取り出していくこと、全体を俯瞰しながらカメラが捕らえていない部分にも目をやり注意を促すこと、そんなアナウンサーの仕事は変わらず、勝負を巡る情報の捌（さば）き役に徹しています。準備から放送当日まで、先端機器の中で奮闘するスポーツアナウンサーの見えない世界を、NHKのサッカー中継で実況の第一人者として活躍された山本浩氏が語ります。

講師 山本 浩（法政大学スポーツ健康学部教授）

1953年島根県生まれ。1976年東京外国語大学ドイツ語学科卒業、同年NHKに入局。アナウンサーとしてサッカーをはじめスポーツ実況を数多く担当。エグゼクティブ・アナウンサー、解説主幹を経て、法政大学スポーツ健康学部教授、（公社）日本プロサッカーリーグ理事、（公財）日本卓球協会評議員



開催概要

- 日時：2017年11月8日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：来館（1階受付）、電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）いずれかにて、
①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：中澤 nakazawa-hiroyuki@shopro.co.jp / 並木 namiki-yuri@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3342 / FAX：03-3502-3341